

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第82期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第81期 第2四半期 連結累計期間	第82期 第2四半期 連結累計期間	第81期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	1,362,214	1,458,898	2,721,784
経常利益 (千円)	62,618	132,176	114,890
四半期(当期)純利益 (千円)	35,216	80,841	61,806
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	31,048	79,144	81,629
純資産額 (千円)	1,992,245	2,105,772	2,042,826
総資産額 (千円)	3,080,330	3,223,122	3,158,778
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	16.63	38.17	29.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.9	63.5	62.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	155,872	106,332	33,489
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	58,516	83,936	23,411
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	45,588	55,047	95,820
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	218,014	242,565	275,216

回次	第81期 第2四半期 連結会計期間	第82期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.12	23.90

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当社グループの平成27年3月期第2四半期の売上高につきましては、前年度の受注残の売上や下期予定していた売上が前倒しで発生した事と、前年と比較してアンブル及び管瓶共に売上が好調であったため昨年実績を上回り、売上高14億5千8百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

利益面につきましては、製造経費の主要費目である加工燃料費の都市ガス料金や製造機械の動力や空調設備に使用する電気料金及び消費税の税率が改定された事に伴い様々な経費が高騰する中、売上高の増加による固定費率の圧縮や、稼働率及び製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組んだ結果、営業利益1億2千3万円（前年同期比126.1%増）、経常利益1億3千2百万円（前年同期比111.1%増）、四半期純利益8千万円（前年同期比129.6%増）とそれぞれ増加しました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (総資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して6千4百万円増加し32億2千3百万円となりました。これは主に商品及び製品が5千6百万円、繰延税金資産が1千1百万円及び投資有価証券が9百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金（純額）が1億1千1百万円及び建設仮勘定が3千4百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して1百万円増加し11億1千7百万円となりました。これは主に社債が2千5百万円減少した一方で、未払法人税等が1千1百万円、繰延税金負債が1千1百万円及びその他が1千2百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して6千2百万円増加し21億5百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が6百万円減少した一方で、利益剰余金が6千4百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2億4千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億6百万円（前年同四半期は1億5千5百万円の資金減少）となりました。これは主に売上債権の増加1億1千2百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1億3千2百万円、減価償却費3千2百万円及びたな卸資産の減少による収入4千8百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8千3百万円（前年同四半期は5千8百万円の資金増加）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入9千4百万円があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億9百万円及び有形固定資産の取得による支出6千6百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5千5百万円（前年同四半期は4千5百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入8千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出9千3百万円、社債の償還による支出2千5百万円及び配当金の支払による支出1千5百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日		2,142,000		107,100		582

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小熊 信一	千葉県市川市	976	45.56
末松 國彦	福岡県行橋市	160	7.49
小熊 雄二	福島県いわき市	123	5.76
小熊 千恵子	東京都文京区	116	5.43
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.02
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	75	3.52
第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町3-5-1	62	2.89
石川 誉	栃木県鹿沼市	47	2.21
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.32
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.32
計		1,704	79.56

(注) 所有株式数は千株未満切り捨て、所有株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,100	21,131	
単元未満株式	普通株式 4,800		
発行済株式総数	2,142,000		
総株主の議決権		21,131	

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	24,100		24,100	1.12
計		24,100		24,100	1.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	336,606	327,143
受取手形及び売掛金(純額)	2 690,571	2 802,535
有価証券	40,709	32,722
商品及び製品	349,909	293,666
仕掛品	2,093	2,393
原材料及び貯蔵品	36,496	43,700
未収入金	50,172	55,912
繰延税金資産	53,916	42,548
その他	2,792	1,384
流動資産合計	1,563,268	1,602,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,210	354,584
機械装置及び運搬具(純額)	119,552	108,457
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	29,662	63,672
その他(純額)	8,847	8,756
有形固定資産合計	948,369	981,566
無形固定資産	1,902	1,706
投資その他の資産		
投資有価証券	601,517	592,495
その他	51,338	52,962
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	645,238	637,840
固定資産合計	1,595,509	1,621,114
資産合計	3,158,778	3,223,122



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,079	170,209
1年内返済予定の長期借入金	154,800	147,400
1年内償還予定の社債	50,000	25,000
未払法人税等	8,629	20,368
未払事業所税	7,330	3,649
賞与引当金	55,884	57,810
その他	133,132	145,518
流動負債合計	576,856	569,957
固定負債		
長期借入金	139,400	133,000
繰延税金負債	128,699	140,414
役員退職慰労引当金	122,683	126,980
退職給付に係る負債	119,566	118,245
資産除去債務	28,745	28,752
固定負債合計	539,094	547,392
負債合計	1,115,951	1,117,349
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,583,337	1,648,295
自己株式	8,450	8,450
株主資本合計	1,682,569	1,747,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305,402	299,104
その他の包括利益累計額合計	305,402	299,104
少数株主持分	54,854	59,140
純資産合計	2,042,826	2,105,772
負債純資産合計	3,158,778	3,223,122

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
売上高	1,362,214	1,458,898
売上原価	1,083,374	1,127,313
売上総利益	278,839	331,585
販売費及び一般管理費	224,418	208,541
営業利益	54,421	123,043
営業外収益		
受取利息	106	51
受取配当金	7,937	8,224
受取賃貸料	4,601	4,577
その他	2,869	1,842
営業外収益合計	15,515	14,696
営業外費用		
支払利息	2,656	2,043
賃貸費用	3,440	3,362
その他	1,220	157
営業外費用合計	7,317	5,562
経常利益	62,618	132,176
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	375	-
特別損失合計	375	-
税金等調整前四半期純利益	62,243	132,176
法人税、住民税及び事業税	11,585	20,165
法人税等調整額	13,270	26,569
法人税等合計	24,856	46,735
少数株主損益調整前四半期純利益	37,387	85,441
少数株主利益	2,171	4,600
四半期純利益	35,216	80,841

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	37,387	85,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,339	6,297
その他の包括利益合計	6,339	6,297
四半期包括利益	31,048	79,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,877	74,544
少数株主に係る四半期包括利益	2,171	4,600

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,243	132,176
減価償却費	34,304	32,626
賞与引当金の増減額(は減少)	2,537	1,926
貸倒引当金の増減額(は減少)	87	179
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	177,437	4,297
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,700	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	1,320
受取利息及び受取配当金	8,044	8,276
支払利息	2,656	2,043
ゴルフ会員権売却損益(は益)	375	-
売上債権の増減額(は増加)	74,366	112,143
たな卸資産の増減額(は増加)	20,771	48,739
未収入金の増減額(は増加)	6,662	5,739
仕入債務の増減額(は減少)	13,482	3,130
未払消費税等の増減額(は減少)	225	27,020
その他	20,474	16,094
小計	138,675	108,564
利息及び配当金の受取額	8,062	8,273
利息の支払額	2,727	2,079
法人税等の支払額	25,750	8,426
法人税等の還付額	3,218	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>155,872</b>	<b>106,332</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	143,383	109,103
定期預金の払戻による収入	257,124	94,099
有形固定資産の取得による支出	54,130	66,545
投資有価証券の取得による支出	983	763
その他	110	1,623
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>58,516</b>	<b>83,936</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出	99,600	93,800
社債の償還による支出	25,000	25,000
自己株式の取得による支出	14	-
配当金の支払額	20,658	15,734
少数株主への配当金の支払額	315	315
その他の支出	-	197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>45,588</b>	<b>55,047</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	142,944	32,651
現金及び現金同等物の期首残高	360,959	275,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	218,014	242,565

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	132,627千円	200,746千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	881千円	1,060千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
運賃及び荷造費	31,210千円	34,051千円
役員報酬	35,506	34,271
給料及び賞与	54,805	56,165
退職給付費用	7,285	5,564
役員退職慰労引当金繰入額	6,632	4,297
賞与引当金繰入額	11,862	12,234
減価償却費	3,983	3,256

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	226,416千円	327,143千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	87,098	117,301
有価証券勘定	78,696	32,722
現金及び現金同等物	218,014	242,565

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,883	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円63銭	38円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	35,216	80,841
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	35,216	80,841
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

不二硝子株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 伊集院 邦光  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 杉本 健太郎  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。